大垣市立東中学校で防災講座を行いました

令和４年６月１０日（金）、大垣市立東中学校２年生約２８０人に防災講座を行いました。

大垣市で浸水被害のあった９．１２豪雨災害を中心に過去の災害の概要を学び、浸水疑似体験映像の視聴（代表者４８人は浸水体感ＶＲを体験）を行いました。ＶＲを体験した生徒からは、「怖かった」「早く避難しようと思った」といった声が聞かれました。講座と同時に、生徒が目隠しや荷物を持ちながらプールの中を歩く浸水時歩行の疑似体験も行われており、浸水体感ＶＲとの組合せで水害時の避難について学びました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

この防災講座の様子は、中日新聞・岐阜新聞に掲載頂きました。